

環境省のエコタウン補助事業の採択を受け IoTを活用した資源循環高度化の調査事業を行います

環境省の「平成28年度低炭素廃棄物処理支援事業補助金（エコタウン低炭素化促進事業）※」の採択を受け、市内事業者等と連携を図りながら、「川崎エコタウン※におけるIoTを活用した資源循環システム高度化に向けた実現可能性調査」を実施することとしましたので、お知らせいたします。

本事業は、IoTの活用により廃棄物処理・リサイクル業界の低炭素化を先導する取組であり、川崎エコタウンに集積するインフラを最大限活用しながら「第4次産業革命」に繋がる先進事例となることを目指します。

※ 平成28年度低炭素廃棄物処理支援事業補助金（エコタウン低炭素化促進事業）

地球環境の保全と循環型社会に資することを目的として、エコタウン等において、資源循環の高度化と低炭素化を図るためのF/S（フィジビリティ・スタディ）及び事業計画の策定を行う事業に関する補助金。

※ 川崎エコタウン

川崎市は、平成9年に川崎臨海部全体を対象エリアとして、国から国内第1号のエコタウン地域の認定を受けて、資源循環の取組と産業の活性化に取り組んでいる。

【調査概要】

（別紙 全体概要参照）

1 実施期間（予定）

平成28～29年度（補助採択審査は単年度毎）

2 事業内容（主な調査・検討内容）

- (1) IoTを活用した産業廃棄物等収集運搬システム最適化
- (2) 産業廃棄物からの資源回収高度化及び低炭素化
- (3) 産業廃棄物処理におけるIoT活用方策の検討
- (4) 川崎エコタウン全体での低炭素化効果検証
- (5) 環境産業の創出等による地域活性化効果検証



3 実施場所

（株）中商扇町CRセンター（川崎市川崎区扇町5-15）の焼却施設等をモデルケースとして、川崎エコタウン地域（川崎臨海部）全体への波及効果を検証

4 実施体制（共同実施者）

- | | |
|--------------------|------------------|
| (1) 川崎市 | 事業主体 |
| (2) 日本電気(株) | IoT技術の適用検証 |
| (3) (株)中商 | 資源回収高度化等のフィールド提供 |
| (4) (一社)資源循環ネットワーク | 全体効果検証 |

問い合わせ先

川崎市 経済労働局国際経済推進室	電話：044-200-3213
日本電気株式会社 神奈川支社	電話：045-682-4521
株式会社中商	電話：044-599-2955
一般社団法人資源循環ネットワーク	電話：093-616-8155

背景

- ◎ **川崎市は**、平成9年に経済産業省(当時の通商産業省)から川崎臨海部全体を対象エリアとして、**全国1号のエコタウン地域の承認を受けた。**
- ◎ その後、**循環産業の一大集積地域**として、**技術やノウハウ等を蓄積し、高付加価値で効率的な循環ビジネスを展開している。**
- ◎ 今回、川崎エコタウン地域内でのリサイクル事業の更なる高度化と低炭素化等を目的に、**市内企業等とも連携を図りながら、IoT技術の循環産業への適応を目指し、FS調査に着手する。**
- ◎ 現在、IoT技術の導入は、**第四次産業革命(Industry 4.0)に繋がる技術として、今後様々な分野での展開が期待されている。**
- ◎ 本調査を通じて、**事業展開が可能なビジネスモデル等**を検討し、**循環産業のみならず、他分野への普及も視野に入れて取り組む。**

調査概要

- ・**事業期間** 平成28～29年度 ※ 環境省補助採択審査は、単年度毎
- ・**事業主体** 川崎市
- ・**共同実施者** 日本電気株式会社 [IoT技術の適用検証]
株式会社中商 [資源回収高度化等のフィールド提供]
(一社)資源循環ネットワーク [全体効果検証]

主な調査・検討内容

- IoTを活用した産業廃棄物等収集運搬システム最適化
- 産業廃棄物からの資源回収高度化及び低炭素化
- 産業廃棄物処理におけるIoT活用方策の検討
- 川崎エコタウン全体への波及効果も考慮した低炭素化効果の検証
- 環境技術・環境産業の創出等の観点からの地域活性化効果の検証



第1ステップ

将来展望イメージ

第1ステップ

【平成28～29年度】

- ◎ IoTを活用した産業廃棄物等収集運搬システム最適化実証
- ◎ 産業廃棄物からの資源回収高度化・低炭素化の検討
- ◎ 廃棄物分野におけるIoT活用方策の検討

第2ステップ

【平成30～32年度】

- ◎ IoTを活用した川崎エコタウンにおける廃棄物処理の高度化と低炭素化実現に向けた情報発信・展開
- ◎ 市内産業廃棄物処理業者へのIoTシステム普及の取組

第3ステップ

【平成33年度～】

- ◎ 川崎エコタウンにおけるIoTを活用した効率的な循環ビジネス手法の普及
- ◎ 他のエコタウン地域や海外への展開・普及
- ◎ 廃棄物分野以外へのIoTシステムの適用拡大

事業効果

- ◎ 川崎エコタウン地域立地企業における廃棄物処理の高度化及び低炭素化の実現
- ◎ 川崎エコタウン地域内での資源循環の高度化と市内環境産業の振興
- ◎ IoTなどの新たな技術を活用した川崎発のグリーンイノベーションの推進